

令和7年3月31日

空飛ぶクルマ用浮体式ポートを核とした、
陸海空のマルチモーダル MaaS 実現に向けたシステムの構築及び運行実証
(代表事業者：野村不動産株式会社)

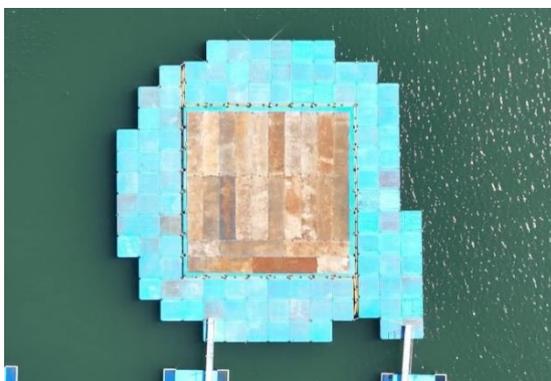
1. 実施内容

空飛ぶクルマの早期普及を目指し、多拠点化が可能な空飛ぶクルマ用の浮体式ポートの構築・検証を行うとともに、自律ロボットや自律航行船なども含めた多様な次世代モビリティの社会実装を念頭に置いた、陸・海・空での MaaS 実現に向けたシステムの構築及び運行実証（以下、本事業）に取り組んでおります。2025年2月には、本事業の一環として実証実験を行いました。

今回の実証実験では、次のような取組みを行うことで、次世代モビリティの社会実装に向けた課題抽出を行いました。

- ・ 海の森水上競技場へ設置した樹脂製の浮体式ポートへのヘリコプターによる世界初の離着陸実証
- ・ 空飛ぶクルマから他モードのモビリティにもシームレスに接続可能なターミナル施設の設計やオペレーション等の分析
- ・ 自律航行小型船舶による東京港初となる運航実証
- ・ 自律ロボットによる運行実証
- ・ 陸海空それぞれの次世代モビリティをシームレスに接続させるシステム構築

本事業の実証期間は、令和5年度から令和7年度までの3か年となりますので、今回の実証で得られた結果を基に、来年度についても社会実装に向けた検討を進めて参ります。



【設置された浮体式ポート】



【ヘリコプターによる浮体式ポート着陸時の様子】

朝日航洋(株) 画像提供



【2025年2月 浮体式ポート 実証時の様子】



【2025年2月 自律ロボット 実証時の様子】



【2025年2月 自律航行船 実証時の様子】

2. 実施期間

令和5年度から令和7年度末まで（予定）

3. 実施場所

中央防波堤エリア内 海の森水上競技場(陸上部)、海の森公園東側船着場

※自律航行船は、日の出船着場～海の森公園東側船着間を航行



実施場所：海の森水上競技場(陸上部)、海の森公園東側船着場

4. 実施事業者・関連情報

【代表事業者】

- 野村不動産株式会社
 - ・2023年10月30日 プレスリリース（提案採択について）
<https://www.nomura-re.co.jp/cfiles/news/n2023103002320.pdf>
 - ・2025年3月28日 プレスリリース（令和6年度実証実験の実施結果について）
<https://www.nomura-re.co.jp/creleases/n2025032701601.pdf>

【連携事業者】

- 清水建設株式会社
- ANAホールディングス株式会社
- 朝日航洋株式会社
- 株式会社 Kidou Systems
- 株式会社エイトノット
 - ・2025年3月28日 プレスリリース
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000044.000077033.html>
- 東京ウォータータクシー株式会社